



## 第43回新冠中学校卒業証書授与式 ～夢と希望に向かって～

3月15日、新冠中学校体育館で、第43回新冠中学校卒業証書授与式が開かれました。58名の卒業生は、夢と希望が一杯詰まった未来に向け、学び舎を旅立ちました。

# 新冠町立認定こども園ド・レ・ミ 木下園長へのインタビュー

今月号で3回目となる子育てに関する特集記事は、認定こども園ド・レ・ミの木下園長と子ども発達支援センターの長谷川センター長のインタビューをご紹介します。

まず初めに、認定こども園の木下園長から、「現代の子育てと問題点」や「子育て支援センター」の役割、「こども園の教育・保育」や「新しい取り組み」などについて、お話しをしていただきました。



新冠町立認こども園ド・レ・ミ園長  
木下 英利 (きのした ひでとし)  
趣味：新冠川での川釣りです！

## 地域に支えられたこども園

私は、38年間、日高管内の小学・中学・高校で教員として働き、静内第3中学校で校長として2年間勤務し退職を迎えました。その後、平成28年4月に認定こども園ド・レ・ミの園長として赴任しました。

こども園に来て、まず驚いたことは、ここの恵まれた環境です。園の隣には整備された公園があり、少し歩くとレ・コード館や図書プラザがあるなど、子育て環境がとても良いと感じました。そして、もう一つ驚いたことは、町内に子育てや園運営に理解がある方がたくさんいることです。

町内の方々の協力により、園児はピーマンの収穫や栗ひろい、ブドウ狩りなどの体験ができ、また、定期的な

## 現代の子育てと問題点

園で勤務するようになり、0歳から6歳までの教育や保育・家庭環境は、子どもの人格形成を培い、その後の子どもの成長に大きな影響を与える重要な時期であるということに改めて実感しています。

そして、この人格形成に重要となる就学前の家庭環境は、それぞれの親の考えにゆだねられることとなります。絵本の読み聞かせや高齢者施設での交流会なども子ども達の貴重な経験となっています。

核家族化や親のつながりが弱くなることで、周りに頼ることもできず、親がゆとりをもてない状況が生まれているように感じます。

## 子育てのコミュニティとして

現代の子育て環境で欠けていることは、親同士が子育ての悩みや情報を交換し、他の親子から子育てを学び、自分の子育てを客観的に振り返る環境で、それを補うために、子育て支援センターが「地域の子育てのコミュニティ」の役割を担う必要があると考えます。

この子育て支援センターに、子育てをする親が集い、交流し情報交換を行うことで、自分の子育てを客観的に見返すことができ、また、センターのスタッフに子育ての悩みや支援制度などについて相談することもできます。

また、親は、子どもが小さいうちに子どもとの向き合い方を学ぶことで、その後の成長過程で起きる問題にも真っ直ぐに向き合えるようになります。

このことから、子育て支援センターは、子育ての基礎を学ぶ場所としてとても重要な施設だと考えています。



## ド・レ・ミの教育・保育について

認定こども園ド・レ・ミは、町内唯一の教育・保育施設として、多い時には170名を超えるお子さんをお預かりしています。

毎日の保育の中で一番大事にしていることは、一人ひとりの子どもとの関係づくりです。

子どもはそれぞれに個性があり、発達にも差があり、家庭環境も様々ですが、園では、全ての園児が安心して生活できるよう声掛けやスキンシップを大事にしています。

そして、当園の生活を通して、子どもに身に付けて欲しい力は「基本的な生活習慣」です。

私の経験から、小学校に入学してから伸びる子どもは、「行儀がよい」、「集中して取り組める」、「きちんと話を聞ける」、「生活にけじめをつけ、気持ちの切り替えができる」という子どもであると考えています。

他の園では、外国語やひらがな、足し算や引き算などの早期教育を取り入れるところもあり、その様な教育プログラムの良さもあるかと思いますが、当園では「子どもがのびのびと生活できる環境」を大事にしながら、基本的な生活習慣の定着を一番に考えて取り組んでいきます。

## 教育プログラムの充実に向け

開設7年目を迎える当園では、これまでの保育主体のカリキュラムに

教育の要素を加え、さらなる内容の充実を図ることとします。

平成29年度については、「音楽」・「造形」・「運動」・「リズム遊び」の4つのメニューを強化していきます。

具体的には、「音楽」ではこれまでの歌や楽器の演奏の他に「メロディオン」を取り入れたプログラムを展開します。

また、「運動」では、これまでのマラソンや体力づくりのメニューに「縄跳び」を加え、遊びを通じた体力の向上を図ります。

そして、このメロディオンや縄跳びを使った取り組みをこども園だけで終わらせるのではなく、小学・中学とも連携させ、新冠だからこそのできる幼小中が連携した取り組みを進めていきます。

今、子ども達を取り巻く環境は大きく変化しており、今後、ますますこども園のニーズが高まっていくと思われまます。

当園としては、利用者の声に耳を傾け、親にとってもお子さんにとっても魅力ある園運営を進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



## 新冠町立認定こども園ド・レ・ミ

- ・ **子育て支援センター**  
開館時間  
月～土 9:00～12:00  
13:00～17:00  
(一時的に保育が必要な場合、子どもをお預かりできます。詳細は、問い合わせください)
- ・ **教育時間 (幼稚園機能)**  
月～金 9:00～13:00  
(夕方4時まで保育を行う、預かり保育制度もあります)
- ・ **保育時間 (保育所機能)**  
月～土 7:30～18:00  
(早朝・延長保育時間含む)
- ・ **問い合わせ** 新冠町字東町18番地の2  
子育て支援センター ☎ 0146・47・4525  
認定こども園ド・レ・ミ ☎ 0146・47・2489

# 新冠町子ども発達支援センター「あおぞら」 長谷川センター長へのインタビュー

続きまして、新冠町子ども発達支援センター「あおぞら」長谷川センター長のインタビューをご紹介します。  
旧節婦保育所を利用してあおぞらが開設されて6年が経過しました。

センター開設の準備段階から陣頭指揮を執られてきた長谷川センター長に、「開設にいたるまでの経緯」や「子どもの発達」、「具体的な事例」などについてわかりやすく説明していただきましたのでご紹介いたします。



新冠町子ども発達支援センター  
「あおぞら」センター長  
長谷川 徹（はせがわ とおる）  
趣味：私は海釣りです！他にも色々。

### あおぞらの開設

平成23年11月1日、新冠町にようやく新冠町子ども発達支援センター「あおぞら」が誕生しました。  
ここで、あえて「ようやく」と言うのは、子どもの発達についての専門機関が新冠町に整備された時期にあります。

全道的にみると、同様の施設の整備は平成8年度頃には、ほぼ完了してしましました。しかし、日高管内には、新ひだか町と浦河町にあるのみで、管内的に整備が遅れていました。

そのような中、利用者の増加と早期療育のニーズの高まりから、平成23年11月に、新冠町子ども発達支援センター「あおぞら」が開設されました。

### 新冠にきて感じたことは？

私は、もともと苫小牧市立心身障害者福祉センターで勤務しておりましたが、このあおぞらの開設に合わせて、新冠町に移り住みました。

新冠に来て、初めに感じたことは、新冠の人は、親戚が近所にいたり、3世代で一次産業に従事しているなど、家族みんなで関わりをもち、たくさんの方が子育てに関われる環境があるためか、支援が必要な子どもに対しておらかな考え方をもっているように感じました。

苫小牧は、このような環境ではないので、子どもの発達について焦りをもつ親が多かったように感じます。

### 今後のあおぞらについて

私が保護者の方々とお会いするのは、乳幼児健診の発達相談の機会が多いかと思えます。

健診の場で、発達相談をすることに、戸惑いを感じる方もいるかもしれませんが、親が子育てに不安や疑問を抱き、精神状態が不安定だと、子どもも不安になり、親を信頼できなくなり結果として、愛着を形成することができなくなります。

このような悪循環に陥らないためにも、どんな事でもよいので気軽に相談していただければと思います。  
あおぞらは、子育てしやすいまちづくりを進めるため新冠町が開設した待望の施設です。また、新冠町の方は施設を無料で利用できます。

町内には、またまた子どもの発達について不安や心配を感じながら子育てをしている方がたくさんいると思いますので、そのような方は、ぜひ一度、あおぞらに電話で相談して下さい。

お話しをする中で、子どもにとって親にとってもより良い子育ての方法がみえてくると思います。

今月号に掲載を予定していましたが、「子育て応援隊の紹介」は、掲載スペースの都合上、来月号にさせていただきます。

### 発達につまずきや遅れがみられる状態とは？

みかんを例に説明します。  
みかん全体を子どもとして見立て、中に入っている一つ一つの房が「運動」「認知」「社会性」「言語」など、子どもがもつ力（能力の領域）だと考えてください。

発達のつまずきや遅れというのは、この一つ一つの房が非常に貧弱であったり、異常に肥大していたり、十分に栄養がいきわたっておらず、いびつになるなど、全体のバランスがとれていないイメージです。

### 療育とは

そこで、そのみかんの房を調べて評価し、栄養不足の房には水や栄養剤を与え、バランスが悪ければ光の当て方を変え調整するなど、何らかの手を加え、健全な発達へと支援する関わりが療育（療育支援）です。

このように、私が考える療育とは、「発達につまずきや遅れがみられる子どもが、社会でよりよく生きていくために必要となる基礎的な力を育てること」で全体的にバランスのとれた成長を促そうという考え方です。

### 想定される事例と関わり

皆さんは、赤ちゃんが泣いていたら、抱っこして、揺すりながらあやしますよね。大抵の赤ちゃんは、これ心地よくなり泣きやみます。

しかし、赤ちゃんが泣いて、抱っこしてあやすとますます泣く。そして、もっと強く揺ると、さらに強く泣く状況であれば、親は戸惑い不安を覚えてしまいますよね。  
普通、揺れる刺激は、赤ちゃんにとって心地が良く、また、赤ちゃんが泣いたときに抱っこして揺らすことで親子の関係が育まれていきます。  
しかし、もし、その赤ちゃんが「揺れる刺激が苦手」な子どもだとするとどうでしょうか。  
親がその赤ちゃん自身の特性をわからず、赤ちゃんを揺らし続け子どもが泣き続ければ、結果として、親の不安と疲労が蓄積され育児不安となり、親子の関係も育まれません。  
今は、ネットや育児書などで色々な情報を得ることができますが、この事例のように、その子どもが持つ特性を踏まえた、具体的な対応策を調べることは容易ではありません。  
もし、皆さんが子育てで不安なことがありましたら、あおぞらにご相談ください。あおぞらでは、専門知識と療育支援経験があるスタッフが子どもの状態を観察し見極め、親の意見も聞きながら日常生活でも取り組める療育プログラムを提案します。  
相談することで、子どもの状態や特性を知ることができ、また、親が育児に対する不安や疑問を減らすことで、前向きに子育てができるようになります。

### 開設から6年が経過して

6年が経過して、地域の方に少しずつあおぞらの役割を理解してもらえようになってきたと感じています。その結果として、あおぞらに対する親の考えが大きく二つに分かれてきたように感じています。

具体的には、あおぞらが行う「早期療育」を理解し、積極的に利用したいという家庭と、おじいちゃんやおばあちゃんなど家族みんなで子どもに関わることで子どもが十分成長していくので、あえてあおぞらを利用する必要はないと考える家庭に分かれて来たように感じています。

### 子どもの発達とは何か

生まれたての赤ちゃんは泣くことしかできない状態から、首が座り、寝返りをするようになり、お座り、ハイハイをして、歩行ができるようになります。また、これと同時に、欲しいおもちゃをつかんだり、身振りを使い自分の意思も伝えられるようになるなど、この時期に生きていくために必要な基本的な力（能力）を身に付けます。  
このように発達とは、赤ちゃん自身が生まれながらに持つ力と子育て環境との相互作用の中で、頼りない状態から、色々なことができるようになっていくすじ道と状態のことだと考えています。



## 新冠町子ども発達支援センター「あおぞら」

- ・スタッフ  
センター長 1名  
言語聴覚士 1名  
療育指導員 1名  
発達相談員 1名  
保育士 2名
- ・開園時間  
児童発達支援（未就園児・幼児）  
月～金 9：30～14：00  
放課後等デイサービス（小中学生）  
月～金 15：00～17：20  
発達相談  
月～金 10：00～16：00

・問い合わせ 新冠町字節婦町 117 番地の 1  
☎ 0146・47・1522 FAX0146・47・1523

# 議会

## - 第1回定例会 -

3月8日に招集された第1回定例町議会は、町長・教育長の行政報告、新年度の執行方針や予算などが審議されました。  
ここでは、町長と教育長の行政報告（抜粋）についてお知らせします。

### 町長行政報告

#### ①J R日高線の復旧に向けた取組など

12月21日にJ R北海道独自の説明会が開催され、新ひだか、浦河、様似、えりもの4町長が欠席の中、「日高線（鶴川・様似間）の復旧断念、並びにバス等への転換に向けた協議開始のお願いについて」ということで、J R北海道の島田社長から説明を受けましたが、第6回沿線自治体協議会において、鉄道事業者としての責任ある対応を協議会の場で示すよう求めたこと、もとより4町長が欠席しているということもありましたので、これまでの協議会の経過を踏まえ、あくまで協議会として対応して行くことで、説明会を終えたところです。  
そして、去る2月18日に第7回沿線自治体協議会が開催され、J R北海道の西野副社長から正式に、「日高線（鶴川・様似間）

の復旧断念、並びにバス等への転換に向けた協議開始のお願いについて」という書面の提出と説明がありました。

その主な内容は、復旧を断念せざるを得ないという結論に至った理由として、相次ぐ被災により、復旧費が約86億円にのぼる試算しており、J R北海道単独では負担できないことに加え、復旧費とは別に、海岸侵食対策として、離岸堤の整備が必要で、これを含めると総額は100億円を超える規模となることなど5点を挙げ、今後、バスなどによる代替交通をはじめとした新たな交通体系の確立や、さらなる地域振興への支援などについて、協議を開始させて頂きたいということ、J R北海道が考えている支援として、国・道・町が補助するバス路線への、町負担分の一定程度の支援など8点が示されました。

協議会としては、正式に説明を受けたという形に止め会議を終了し、引き続き臨時の町長会議を開き意見交換を行いました。  
その中で、酒井新ひだか町長から、道路と鉄道の両方を走行できる「デュアルモード・ビークル（DMV）」の導入について提案があり、詳細な調査・研究が必要であることを確認すると共に、バスを含む代替交通についても検討を進める必要性があると判断いたしました。

しかし、このことが復旧を断念し、廃線を受け入れたという結論では無いことも確認し、次回の協議会において、これらの進め方等について協議、決定することとしたところです。

#### ④日高地区交通災害共済組合の解散

昭和40年代半ばの多発する交通死亡事故という社会問題を背景に交通事故被害者の救済を目的として昭和44年に日高地区交通災害共済組合が設立されました。

当該共済組合は、安価な加入金で事故被害の状況に応じて3万円から80万円の見舞金が支給されることから手軽な交通事故保険として多くの方に利用されて来しました。

しかしながら、近年では加入者が減少し、事業費支出が掛金収入を上回ることによる基金からの繰り入れが恒常的な財務状況にあり、そのため平成28年2月には、構成町町長による「あり方検討会」を設置し、組合の存廃について協議検討をした結果、近い将来の債務超過が避けられないとの協議結果に至りました。この結果を踏まえ、平成28年10月14日開催の組合議会臨時会において、組合の解散が決定された次第です。

今後は、構成町議会定例会において「組合解散についての議決」「組合財産処分についての議決」を経て、北海道知事への解散の届出を行うこととなります。組合への加入受け付けは、平成29年度をもって終了し、平成30年度は、見舞金の支給事務のみを行うことで平成31年3月31日をもって日高地区交通災害共済組合は、解散することになります。

#### ⑤診療報酬の返還について

昨年5月に北海道保健福祉部に対して実施された、平成28年度の会計検査院実地検査において、障害者福祉施設の入所者に係る医療費について調査が行われ、その中で、

#### ②優駿日高道！オールひだか魅力発信 協議会の設置などについて

人口減少や超高齢化社会を迎える中、地方創生・人口減少克服の観点から、広域観光やインバウンドなどによる地域経済の活性化が求められており、（仮称）厚賀インターチェンジが平成29年度に開通の予定であることから、この開通を契機として、ひだか地域への人の流れを拡大し、地域の活性化につなげ、オールひだかで地域の魅力を発信していくため、去る2月27日に管内各町はじめ、商工観光、産業、交通、マスコミなど37の団体からなる、「優駿日高道！オールひだか魅力発信協議会」を立ち上げました。

今後は、協議会の中にワーキングチームを設置し、キャンベーンロゴマークの募集や自動車利用者層向けのプロモーション、札幌や各町で開催される各種イベントなどへの出展、テレビやラジオなどによる情報発信、開通直前PRイベントや開通記念行事など、具体的な取組みを展開することとしております。

#### ③町道岩清水新冠ダム線の路線変更

路線変更をしようとする理由については、昭和51年6月の定例議会におきまして、幌尻岳を中心とする日高山脈が国定公園に制定されることを機に、奥地の観光開発と観光客の誘致を主たる目的として、町道に認定後、併用林道として管理し、新冠ダム湖を遊漁場とし、更には国有林内の一部を野営場として利用しておりましたが、現在は、それぞれの権利を返還し、現状におけ

## 教育長行政報告

#### ①学校教育の推進

平成29年度の児童数及び学級編制について、朝日小学校の児童数は、本年度の69名から15名減の54名となります。学級数については、2年生・3年生の児童数が合わせて14名となり、複式学級の編制基準である16名以下となることから、次年度は6学級から5学級の編制になる見込みとなります。  
今後の対応について教育委員会、町長部局と協議を重ねた結果、単式学級継続による支援策として、町費負担教職員の採用を進めることといたしました。しかし、募集時期の関係から、議会、学校、保護者などへの説明が遅れましたことに対しまして、深くお詫び申し上げます。

次に「豊かな心身の育成」についてです。平成28年度実施した全国体力・運動能力状況調査結果について、実技調査では体力合計点において小学5年生男女ともに、全国平均を上回り、中学2年生女子は全道平均を上回りましたが、男子については全道平均をやや下回っております。結果の公表については、今年度も北海道教育委員会の報告書をはじめ教育委員会だよりに掲載するなど全町民に広くお知らせいたします。

次に「信頼される学校づくり」について、本年度、6月22日に開設した新冠中学校のホームページは開設後現在、2万件を超えるアクセスがあり、1日最高260件のアクセスがありました。保護者、地域の方々からも大変好評であり、今後も継続した取り組みを支援したく考えております。

る道路の利用者は、主に森林管理署と北海道電力の関係者であること。

また、今後、この路線を維持して行くこととする中で見込まれる経費が、現時点で5億円以上という莫大な額になること。

町道に認定した当時と比べ、現在は一般の人の利用が極端に少なく、当該路線を町道として持つ意味が変化してきていることなどの理由から、関係機関と町道の廃止に向け協議を重ねてきました。

その結果、起点の国有林内から新冠川を跨ぐ、新冠大橋手前のアブカシャンベ橋までの3011mを町道として残し、それ以外の1万8367mを廃止しようとするものです。

なお、町道として廃止しようとする1万8367mについては、以後、国有林道として一般車両の通行が可能であることを、森林管理署とのあいだで確認しているところであり、暫くのあいだ、町道として残します3011mについては、森林管理署が5年から6年後を目途に、国有林内に迂回路を設置した後、町道の廃止をしたいと考えているところでございます。



第1回定例会の様子

#### ②社会教育の推進

本年度の少年国内研修交流事業は、当町研修団の沖繩県への派遣と、交流先である、金武町子ども会の受け入れを行なう形での相互交流を行いました。

金武町子ども会の受け入れは、3年に一度実施される北海道研修に合わせ、本年1月7日から8日の日程で、総勢30名が当町を訪れたもので、今回が2回目となります。歓迎レセプションには、町長をはじめ関係者の皆さんにも出席をいただき、交流は、昨年度の研修参加者とその保護者を中心に実施いたしました。

当町研修生の沖繩派遣は、本年1月11日から14日の日程で実施し、今回は、交流でお世話になっている金武町への表敬を目的に私も団長として参加してまいりました。本事業は、当町青少年教育の特徴的事业であり、研修において、子どもたちが経験する全ての事柄は、「故郷を感じ」「仲間を想い」「周りに感謝する」といった、成長過程において、とても大切なことを経験できる機会であり、主要事業であると認識しております。今後とも、目的を見失うことなく、本事業を継続してまいりますので、ご理解と協力を賜りますようお願い申し上げます。



沖繩で調べたことや感想を発表した国内研修の報告会

## 高齢者権利擁護講演会

### 「遺言」と「成年後見」について



3月3日、レ・コード館町民ホールで、町と社会福祉協議会の共催による講演会が開かれ、会場には約160名の参加者が集まりました。

講演会では、6名の司法書士が、遺言と成年後見制度で問題となる、事例や解決策について寸劇を交えてわかりやすく解説し、参加者は、時おり笑い声をあげながら学習を深めました。

## 新冠にきた高橋房次医師 資料館ふるさと再発見講座



3月4日、レ・コード館で、郷土資料館のふるさと再発見講座が開かれ、会場には約50名の参加者が集まりました。

この日、講師を務めたのは、苫小牧市在住の郷土史研究家山本融定さんで、講座では、コタンのシユバイツァーと呼ばれ、大正時代に新冠村医として心血を注いだ高橋房次医師の知られざる逸話や時代背景などが紹介されました。

## デジカメ写真講座 撮影のテクニクを学ぼう



3月4日と11日の2日にわたり、字太陽在住のプロカメラマン市川潔さんを講師に、生涯学習講座「デジカメ写真講座」が開かれました。

1回目の教室では、カメラの使い方や構図の決め方など撮影の基本について解説が行われ、2回目の教室では、実際にカメラを持って青年の家の周辺を回り、屋外での撮影の実習を行いました。

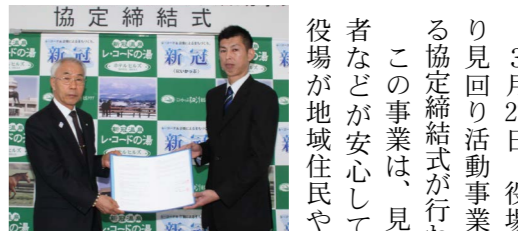
## 交通安全祈願の「愛の鈴」 商工会女性部員が手作りで作成



3月7日、町商工会女性部から教育委員会に「交通安全愛の鈴」が届けられました。

この鈴は、4月から新1年生となる小学生の無事故を願う商工会女性部が毎年手作りしているもので、鈴は黄色い毛糸で包まれ、水川神社でお祓いを受けた後に町教育委員会に届けられ、新1年生には、各小学校から入学式の日に手渡されました。

## さらなる連携をはかる 地域見守り見回り活動



3月27日、役場会議室で、地域見守り見回り活動事業の新規事業所における協定締結式が行われました。

この事業は、見回り活動を通し高齢者などが安心して生活できるように、役場が地域住民や事業所と協力して取り組んでいる事業です。この日は、新たに栗山建設㈱と協定を結び、町内の登録事業所は22社となりました。



また、福祉事業推進マスコット「いにかっふん」がデザインされたキーホルダーとマグネットステッカーも作成され、この日、協力事業所の一つである(有)鈴の鳴る道にステッカーが届けられました。

# ま ち の 話 題

あれこれ

## 太陽地区でピーマン栽培 新規就農者激励会



3月28日、太陽開拓婦人ホームで、今年から太陽地区で就農する新規就農者の激励会が開かれました。

今回新たに就農するのは、これまで農業支援員として研修を重ねてきた白戸雄太郎さんと齋藤隆幸さん・純子さん夫妻で、二組とも太陽地区でピーマンの栽培を行います。



激励会には、研修を受け入れた農家や太陽地区の自治会員、農協などの農業団体関係者などが集まり、若い二組の就農者に激励のエールを贈りました。

## 被災地域の災害復旧に尽力 町内外の建設業者14社に感謝状



3月21日、役場会議室で、建設業者14社に対し感謝状が贈呈されました。

これは、昨年夏に発生した豪雨災害において、町道の安全確保のために車両誘導作業などを行い、また、今日に至るまで、排水路の土砂採掘や水道施設の清掃作業などの災害復旧事業に尽力いただいたことに対し、感謝の意を表し感謝状を贈りました。

## 浦河地方法法人会新冠支部 新冠中学校吹奏楽部に寄贈



3月22日、公益社団法人浦河地方法法人会新冠支部から新冠中学校吹奏楽部に対し、部活動で使用するための楽器が寄贈されました。

これは当法人の社会貢献事業の一環として、昨年に引き続き行われたもので、この日は中山会長から早川部長にパーカッションで使用するマレットのセットが手渡されました。

## カラーリングを知ってますか？ カラーリング教室開催



3月23日、スポーツセンターで、カラーリング教室が開かれました。

カラーリングは、室内でできるカラーリングとして考案されたニユースポーツです。

教室では、新冠町スポーツ推進委員5名が講師を務め、参加者に投球フォームや競技方法などを説明し、その後は、4つのチームに分かれてゲームを楽しみました。

## 字古岸在住の佐々木碧さん 農林水産大臣政務官賞受賞



この度字古岸の佐々木碧田姓泉澤さんが、平成28年度農村漁村男女共同参画優良活動表彰の農林水産大臣政務官賞を受賞され、3月24日、町長を訪れ受賞報告をしました。

佐々木さんは、平成26年から町で初めての女性農業委員を務め、また、道の4日クラブや女性農業団体など多方面で活躍されていることが評価され今回の受賞となりました。

# 役場からのお知らせ

— Niikappu Town Office Information —

その1

## 地域見守り見回り活動事業について

町では、平成27年度より、安全で安心な生活が営めるよう、地域に住んでいる方や地域を巡回する事業所と連携し、高齢者の異変を早期に発見する見守り体制「地域見守り見回り活動事業」に取り組んでいます。

現在、地域に住んでいる見守り隊員の登録は81名、地域を巡回する見回り事業所は22事業所となっております。

これまでの活動実績としては、見守り隊員や見回り事業所から「郵便物が溜まっている」「いつもと様子が違う」などの通報を4件いただき、救急要請などの対応を取ることができました。

町では、この活動を支えていただける町民と事業所を募集しております、趣旨に賛同しご協力いただける方がおりましたら、担当までご連絡をお願いします。

- また、平成28年度には、本事業に係るキャラクターデザインを公募し、48作品の中から『にいかっぶん』というキャラクターが誕生しました。
- 町では、このキャラクターがデザインされたグッズを制作し、見守り隊員には地域包括支援センターの電話番号が印刷されたキーホルダーを、見回り事業所にはマグネットシートを配布し、事業の周知と拡大を図っております。
- 事業内容について、ご意見ご質問がありましたら、下記担当までご連絡ください。
- 問い合わせ先  
保健福祉課保健福祉グループ  
介護福祉係  
(地域包括支援センター)  
☎ 0146・47・2113



マスコットキャラクター「にいかっぶん」

## 室蘭児童相談所による巡回児童相談

巡回児童相談は、育児や成長・発達の問題などについて、児童相談所の児童福祉司及び判定員が相談をお受けします。

- 対象：18歳未満のお子さんとその保護者
- 相談内容：①療育手帳の申請や更新について  
②成長・発達に関する相談について
- 日時：①平成29年9月20日(水)  
②平成30年2月21日(水)
- 場所：新冠町町民センター 2階 和室・会議室
- その他：相談に係る提出書類の作成などの事前の準備がありますので、相談を希望される方は、1ヶ月前までに、担当までお問い合わせください。

● 問い合わせ先  
保健福祉課保健福祉グループ福祉係 ☎ 0146・47・2113

## 健康カレンダー

(お問い合わせ先：保健福祉課 ☎ 0146・47・2113)

月	日	時間	事業名	場所
4月	18日(火)	13:00~16:30	フッ素塗布	保健センター
	25日(火)	受付10:00~	4・7・12ヶ月児健康診査	保健センター
受付13:00~		1歳6ヶ月・3歳児健康診査		
5月	15日(月)	13:00~16:30	フッ素塗布	保健センター
	16日(火)	受付13:00~	BCG予防接種	保健センター
	23日(火)	受付10:00~	4・7・12ヶ月児健康診査	保健センター
受付13:00~		1歳6ヶ月・3歳児健康診査		

## ご寄附ありがとうございました。

(敬称略)

- 農業振興のために役立ててと  
☆株式会社北海道日高牧場 (2,000,000円)
- 認定こども園事業に役立ててと  
☆ユニオン工業株式会社 (1,000,000円)
- 老人ホーム「恵寿荘」に役立ててと  
☆高橋 満郎 (大根16kg)  
☆木原 貞子 (古布2袋)  
☆高橋 喜夫 (乳酸飲料96本)  
☆畑中 与治 (古布1箱)  
☆伊藤 毅一 (オムツ3袋)  
☆木村 千鶴子 (カット布・肌着1袋)  
☆青木 和美 (古布1袋)  
☆西尾 幸子 (シャワーチェア2台・古布1袋)  
☆上井 武光 (古布4袋)  
☆清水 松子 (古布1箱・紙オムツ2袋)  
☆葛野 弘子 (古布2袋)  
☆ボランティアグループあゆみ (カット布3箱・4袋)  
☆新冠町商工会女性部 (古布5袋)  
☆ボランティアグループちよぼら (カット布4袋)

### 新冠町社会福祉協議会へ

- 香典返しに代えて  
☆高野 脩子 (30,000円)  
☆鏡 義春 (10,000円)  
☆長田 憲周 (10,000円)

恵寿荘では、介護で日常的に使用する古布の寄贈を受け付けております。古着や古シャツなどがありましたら直接恵寿荘にお持ちください。☎ 0146・47・2355

## 夜間窓口・節婦移動窓口のお知らせ

今年も夜間窓口と節婦移動窓口を開設します。窓口では、各種町税や、水道料・住宅料・保育料などを納付することができます。また、町税などの分割納付に係る納税相談も受け付けます。平成29年4月から9月までの日程は、次のとおりです。

### ◎夜間窓口について

● 開設日	
4月17日(月)	7月18日(火)・31日(月)
5月1日(月)・15日(月)・30日(火)	8月15日(火)・30日(水)
6月15日(木)・30日(金)	9月15日(金)

- 開設時間  
午後5時15分から午後7時まで
- 開設場所  
役場税務課窓口(役場庁舎1階4番窓口)

### ◎節婦移動窓口について

● 開設日	
4月17日(月)・25日(火)	7月18日(火)・25日(火)
5月15日(月)・25日(木)	8月15日(火)・25日(金)
6月15日(木)・26日(月)	9月15日(金)・25日(月)

- 開設時間  
午後1時30分から午後4時30分まで  
※下旬の開設日は、午後6時30分まで開設します。
- 開設場所  
新冠消防第二分団庁舎(節婦分遣所)
- 問い合わせ先  
税務課税務グループ納税係 ☎ 0146・47・2115

## 静内保健所：保健相談・健康相談開催のお知らせ

静内保健所では、一年を通して、保健相談や健康相談を行っておりますので、気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。

どの事業も、予約が必要となりますので、利用を希望される方は事前に電話で予約のうえ、静内保健所までお越しください。なお、相談料は無料です。

### 思春期保健相談事業

- 相談日：年3回程度(日程は相談者と調整します)
- 場所：静内保健所内
- 内容：学校に行けない、人に会いたくないなどの小学生から高校生までの子どもたちや家族、関係者に対するの保健相談。



● 問い合わせ先 静内保健所健康推進課 ☎ 0146・42・0251

- ところの健康相談  
相談日：毎月第1金曜日 13時30分~15時30分  
場所：静内保健所内  
内容：①うつ病、ストレスによる症状(不眠など)  
②人前にでられない、ひきこもり  
③ギャンブル依存、薬物依存  
④認知症、高次脳機能障害  
⑤自殺された方のご遺族からの相談  
⑥犯罪被害者からの精神ストレスの相談  
※御家族からの相談も受けております。

### 女性の健康相談

- 相談日：毎月第4水曜日 13時~16時
- 場所：静内保健所内
- 内容：女性の健康に関する相談  
①妊娠や出産に関すること  
②子育ての悩みに関すること  
③思春期の性感染症に関すること  
④更年期の健康上の悩み など

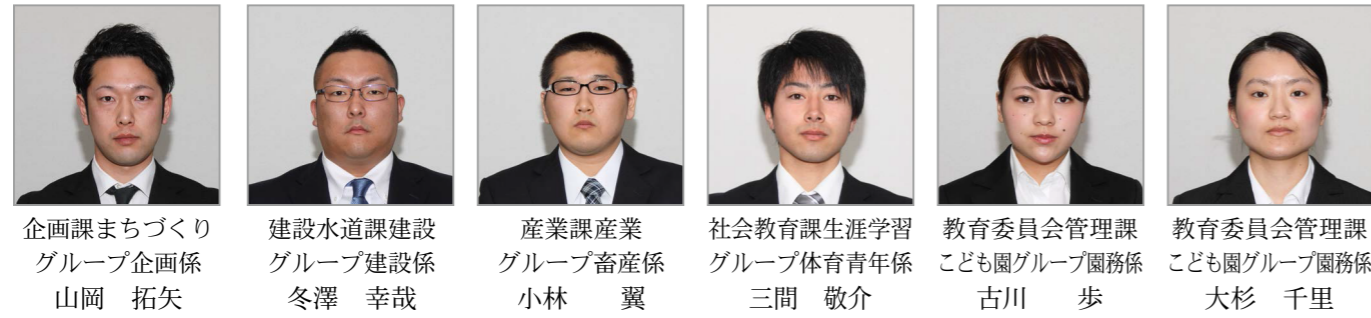
派遣

発令内容	氏名	前職
日高中部広域連合派遣	八木 真樹	保健福祉課保健福祉グループ総括主幹

3月31日付退職者

氏名	前職
中村 義弘	総務課長
山下 保則	産業課農政グループ畜産係副主幹
矢野 薫	特別養護老人ホーム恵寿荘主査兼主任介護支援専門員

平成29年度新規採用職員



企画課まちづくりグループ企画係 山岡 拓矢  
 建設水道課建設グループ建設係 冬澤 幸哉  
 産業課産業グループ畜産係 小林 翼  
 社会教育課生涯学習グループ体育青年係 三間 敬介  
 教育委員会管理課こども園グループ園務係 古川 歩  
 教育委員会管理課こども園グループ園務係 大杉 千里

●問い合わせ先 総務課総務グループ総務係 ☎0146・47・2497

教職員着任式 新しい先生が着任しましたのでご紹介します。



平成29年度  
新冠町教職員着任式

- (前列左から) ①蘇田 昭彦(新冠小学校教諭) ②佐々木教之(新冠小学校教諭) ③村山 修平(新冠中学校校長) ④佐藤 裕哉(新冠小学校教頭) ⑤佐藤 法子(新冠小学校教諭) ⑥中村 悦久(新冠小学校教諭) ⑦中山 麻佳(新冠中学校教諭)
- (後列左から) ①齋藤 博子(新冠中学校教諭) ②小平 元(新冠中学校教諭) ③金澤 豊生(新冠小学校教諭) ④土肥 好(新冠小学校教諭) ⑤木下 北斗(朝日小学校教諭) ⑥武田悠士郎(新冠中学校教諭)

●問い合わせ先 管理課管理グループ総務係 ☎0146・47・2547

# 役場からのお知らせ

— Niikappu Town Office Information —

その2

職員の動き

4月1日付けで、職員の人事異動がありましたのでお知らせします。

町長部局

課名	発令内容	氏名	前職
総務課	総務課長 総務グループ総務係兼防災係	坂本 隆二 川口 和哉	国保診療所事務長 産業課農政グループ畜産係
町民生活課	町民生活グループ総括主幹兼環境衛生係長 町民生活グループ社会係兼環境衛生係	竹内 修 酒井 伸輔	社会教育課生涯学習グループ総括主幹 町民生活課町民生活グループ社会係
保健福祉課	保健福祉グループ総括主幹 保健福祉グループ福祉係	楫川 聡明 小林 元希	社会教育課生涯学習グループ副主幹兼施設管理係長 社会教育課生涯学習グループ社会教育係兼施設管理係
産業課	産業グループ総括主幹兼水産係長 産業グループ農産係長 産業課産業グループ牧野係 産業課産業グループ畜産係 産業課産業グループ林務係	三宅 範正 小松 祐貴 山下 利幸 長谷川 誠 坂本 博	産業課水産林務グループ副主幹兼水産係長兼林務係 税務課税務グループ賦課係 (定年退職後、再任用) (定年退職後、再任用) (定年退職後、再任用)
税務課	税務グループ総括主幹兼収納対策本部次長 税務グループ収納対策本部係長 税務グループ賦課係	西川 宏幸 岡井 朋哉 石郷岡直哉	産業課農政グループ総括主幹兼農産係長 日高管内滞納整理機構 建設水道課管理グループ管理係
建設水道課	専門監兼建設グループ総括主幹 建設グループ主幹 建設グループ主幹兼上下水道係長 建設グループ建築係長 建設グループ建設係長 管理グループ管理係	関口 英一 村田 貞光 寺西 訓 袴田 英臣 椎名 俊介 早坂 宏	建設水道課建設グループ総括主幹兼建設係長 建設水道課建設グループ副主幹兼建築係長 建設水道課建設グループ副主幹兼上下水道係長兼建設係 建設水道課建設グループ建築係 建設水道課建設グループ建設係 保健福祉課保健福祉グループ福祉係
国保診療所	国保診療所事務長	杉山 結城	税務課税務グループ総括主幹
老人ホーム	恵寿荘所長 庶務係兼主任介護支援専門員	山谷 貴 上垣 寿江	町民生活課町民生活グループ総括主幹 特養恵寿荘施設介護係兼庶務係

農業委員会

課名	発令内容	氏名	前職
管理課	農業委員会事務局次長	田村 一晃	税務課税務グループ収納対策本部次長

教育委員会部局

課名	発令内容	氏名	前職
社会教育課	生涯学習グループ総括主幹 生涯学習グループ副主幹兼施設管理係長 生涯学習グループ副主幹兼体育青少年係長 生涯学習グループ施設管理係 生涯学習グループ社会教育係	谷藤 聡 曾我 和久 磯野 貴弘 小室 直樹 原口 正也	社会教育課生涯学習グループ副主幹兼体育青少年係長 議会事務局副主幹兼庶務係長 町民生活課町民生活グループ副主幹兼環境衛生係長 教育委員会管理課こども園グループ庶務係 企画課まちづくりグループ企画係

議会事務局

課名	発令内容	氏名	前職
議会事務局	議会事務局庶務係長	浜口 雅史	総務課総務グループ総務係兼防災係



夜間開館のお知らせ

毎週水曜日は、夜間開館日です。  
夜8時まで開館しています。

今月の一冊



日本一よくわかる  
北海道日本ハム強さの理由  
～なぜ常勝球団になれたのか～  
岩本 勉著／出版：プレジデント社  
栗山監督や大谷選手のすごさ、育成やスカウティングのすごさ…。2002年に北海道への移転を発表した時の選手会長で、球団との交渉役だった「ガンちゃん」こと岩本勉が、北海道日本ハムファイターズの強さの理由を明かす。

アニマル号 (移動図書館車) 運行日程

4月20日	10:30～11:00	おうるの郷
27日	10:10～10:30	朝日小学校
	11:15～11:30	太陽郵便局
28日	15:40～15:55	町民センター前 (児童館)
	16:00～16:30	認定こども園ド・レ・ミ
5月11日	10:10～10:30	朝日小学校
12日	12:50～13:20	認定こども園ド・レ・ミ
	15:05～15:35	新冠小学校
	15:40～15:55	町民センター前 (児童館)
18日	10:30～11:00	おうるの郷
25日	10:10～10:30	朝日小学校
	11:15～11:30	太陽郵便局
26日	15:05～15:35	新冠小学校
	15:40～15:55	町民センター前 (児童館)
	16:00～16:30	認定こども園ド・レ・ミ

新着ガイド

認知症予防におすすめ図書館利用術	結城 俊也
珍奇な昆虫	山口 進
左利きあるある右利きないない	左 来人
カンサイ式節約術	関西節約術評議会編
狭くても、料理が楽しい台所の作り方	後藤 由紀子
おかたづけ育、はじめました。	Emi
農家が教える自然農法	農文協編
北海道ジンギスカン四方山話	北野 麦酒
えんとつ町のプペル	にしの あきひろ
よくわかるはじめての川釣り	大山 俊治
中国語で PERAPERPA 北海道	札幌中国語工房
鏡の女	内田 康夫
騎士団長殺し 第1部・第2部	村上 春樹
毎日っていいな	吉本 ばなな

☆イベントカレンダー

4月22日(土) 13:30～ びっくり箱のおはなし会  
4月26日(水) 10:30～ あかちゃん絵本の読み聞かせ  
・主催 読み聞かせの会「びっくり箱」  
・場所 レ・コード館図書プラザおはなしのへや

☆宮本実智さん 読書記録 20冊目達成!

～読んだ本は、なんと 600冊分～

この度、新冠小学校3年生の宮本実智さんが読書記録20冊目を達成されました。

宮本さんは昨年春、読書記録10冊目を達成されてからも、たくさん本



を読み、コツコツ読書記録に書き込み続けて、1年もかからないうちに更に読書記録10冊を終え、20冊を達成されました。

宮本さんは本を読んだら読書記録に書くことが習慣になっているとのこと。これからはいろいろな物語に出会ってほしいです。

最近では読書記録を利用する子が少しずつ増えて、図書プラザやアニマル号でもスタンプやごほうびシールをもらいに来られる姿が見られます。

読書記録は大人から子どもまで、どなたでもいつからでも始めることができます。本を読むことに加え、タイトルや日付、思ったことなど書き残すことにぜひご利用ください。

●問い合わせ先

レ・コード館図書プラザ ☎0146・45・7777

お知らせコーナー

ホッカイドゥ競馬と Aiba祭のお知らせ

平成29年度のホッカイドゥ競馬は4月18日に開幕し、11月9日までの全80日間の日程で行われます。

今年も、地域の方々と連携し、楽しいイベントを企画しておりますので、会場に足を運んでください。

また、今年のAiba祭の日程も決まりましたのでお知らせします。

Aiba祭日程(全4回)  
①5月17日(水) ②6月21日(水)  
③9月19日(火) ④11月8日(水)  
たくさんの方の来場をお待ちしております。

●お問い合わせ先  
新冠町役場産業課産業グループ畜産係  
☎0146・47・2183

静内駐屯地からのお知らせ

次のとおり一般曹候補生、一般幹部候補生を募集します。

○一般曹候補生の募集  
第1回募集分  
資格 18歳～27歳未満の男女

・受付 5月5日まで  
・採用試験日 5月27日  
○一般幹部候補生

一般  
資格 20歳～25歳(院卒は27歳)  
歯科薬剤科  
資格 20歳～29歳(学位で変動)

飛行  
資格 18歳～20歳(海は22歳)  
・受付 5月5日まで  
・採用試験日 5月13日～14日

●お問い合わせ先  
陸上自衛隊静内駐屯地内  
自衛隊札幌地方協力本部静内分駐所  
☎0146・44・2855

日高弁護士相談センター

センター開設日

4月17日(月)・19日(水)  
5月1日(月)・8日(水)  
10日(水)・15日(月)

相談は予約制です。相談を希望される方はお電話ください。

●ご予約・お問い合わせ先  
ひだか弁護士相談センター  
☎0146・42・8373

**広告主募集中!**  
1月あたりの広告料は、ホームページが10,200円、広報誌は3,000円となっております。詳しくは、担当まで。  
●問合せ先: 企画課広報統計係  
☎0146・47・2498

フラワーつつみ  
TEL 0146-47-4878  
FAX 0146-47-4879  
新冠町字東町 19-18  
アレンジ教室開催中!

すべての相談の相談料があなたの幅みに **無料になりました。**  
相談予約ダイヤル **0146-42-8373**  
平日 10:00～16:00(12:00～13:00を除く)  
札幌弁護士会 ひだか弁護士相談センター

《ミルトからの美味しいお知らせ》  
4/1よりプリンとシュークリームがリニューアル!! ほんわかぷりんといかつぶシューは、各80円(税込)。お求め安く、お買い得なとつても美味しい商品をぜひご賞味ください。  
新冠町字本町 110-28  
TEL・FAX / 47-2885

春のカード新規会員ご紹介キャンペーン実施中! もれなくギフトカードが貰える。詳しくはWEBで!  
日専連ジェミス  
新ひだか支店  
☎0146-42-2000

OA・文具・家具・カーテン  
株式会社 Liberty Hashimoto  
TEL(45)-7021 FAX(45)-7022  
新冠町字北星町2-61(役場の目の前)

**ひだかひまわり基金法律事務所**  
弁護士 原 英士(札幌弁護士会所属) / 原 万里子(札幌弁護士会所属)  
\*借金・クレジットの返済 \*多重債務 \*交通事故 \*離婚  
\*相続・遺言 \*家賃滞納・不動産 \*悪徳商法 など  
借金・交通事故・相続については、初回相談無料です。☎(0146)43-1206  
日高郡新ひだか町静内御幸町 3-1-78 2階 (エクリプスホテル静内向かい)

あなたの町のカー & ライフサポーター!!  
BRIDGESTONE カーケア&タイヤショップ  
SUZUKI ARENA スズキアリーナ新冠  
新冠郡新冠町中央5-28 TEL.(47)-2820  
ココロも満タンに **コスモ石油**  
新和SS(47)-5011 新冠SS(47)-3830  
株式会社 伊藤商会



# キラリと光る レ・コードなまち

○団体・サークル紹介○

今月号は、競技を通して健康増進と交流を図る「新冠町パークゴルフ協会」をご紹介します。

## 【プロフィール】

新冠パークゴルフ協会は、平成4年に日高管内初の協会として設立され、新冠町体育協会にも加盟して活動を始めました。

現在の会員は32名です。主な活動期間は5月から10月で、主な活動は、協会会員が参加する「例会」、会員以外の一般参加者も参加できる「大会」などを企画しています。

また、年に数回、日高管内の連合大会や北海道ブロック大会も開かれており、新冠の協会でチームを組み参加することもあります。

パークゴルフ協会で活動する利点は大きく二つあると考えています。一つ目は、「健康づくり」で、競技を通して健康増進を図れることです。例会や大会が定期的に開かれることで、外に出るきっかけになり、コースでプレーすることで、運動不足の解消と健康増進を図ることができます。

二つ目は、「仲間づくり」です。通常4人でコースを回りますが、その際、お互いたくさん会話をすることができます。世代を超え、また、住んでいる地区や移住した人も一緒になって交流できることが協会の活動の魅力だと考えています。

会員の減少が悩みの一つですが、新冠町にあるこの素晴らしいパークゴルフの環境を活かして、これからも継続して活動していきます。



## 【活動内容】

- ・例会：毎月1回（会員対象の事業）
- ・大会：毎月1回（地域の方も参加できる大会）
- ・その他：全道大会、日高管内の大会にも参加
- ・会費：年会費3,000円

## 【会員募集など】

パークゴルフの魅力は、年齢や性別・経験に関係なく誰でも楽しめることです。初心者も大歓迎です。ぜひ一緒に活動しましょう。

(お問い合わせ 事務局青山：☎0146・47・3398)

西泊津パークゴルフ場からのお知らせ

## パークゴルフ場オープンのご案内

- ・期日 平成29年4月15日(土)
- ・時間 午前9時オープン

今年もたくさんのご利用をお待ちしております。

## ● 自転車の安全利用の促進について ●

- ～ 自転車も「乗るなら飲まない」「飲むなら乗らない」～
- ～ 夜間はライトを点灯 ～
- ～ 子どもはヘルメットを着用 ～

火災・救急出動状況 ( ) かつこ内は前年同期			
区分	火災件数	救急件数	
3月	2件 (0件)	17件 (25件)	
29年1～3月	3件 (0件)	61件 (68件)	
交通事故発生状況 ( ) かつこ内は前年同期			
区分	発生件数	死者	傷者
3月	0件 (0件)	0人 (0人)	0人 (6人)
29年1～3月	0件 (3件)	0人 (0人)	0人 (6人)

## 人のうごき

人口	5,640人	(前月比 - 28人)
男	2,751人	(前月比 - 9人)
女	2,889人	(前月比 - 19人)
世帯	2,749世帯	(前月比 + 9世帯)

(平成29年3月末現在)